

- 1) 投稿者は日本心臓核医学会会員に限る。
- 2) 掲載後の論文の著作権は日本心臓核医学会に属しその全部または一部を如何なる方法によっても無断で出版、複製してはならない。
- 3) 本誌の採択原稿は心臓核医学会ウェブサイトにも掲載される。
- 4) 自施設あるいは個人のリポジトリへの掲載を認める。ただし、本誌の出典情報（年号、巻、頁）を記載すること。
- 5) 原稿の内容は心臓・循環器および放射性同位元素の医学応用に係わる研究およびこれに関連する分野で、外国誌を含めて他誌に未発表のものとする。
- 6) 基礎および臨床研究のいずれにおいても、疫学および臨床研究倫理に十分配慮されたものとする。

・原著：独創性に富み、目的、方法、結論の明確な研究・症例報告：心臓核医学診断が有用であった臨床症例をまとめた報告

・短報：独創的ではあるが部分的または断片的な研究を簡潔な報告

・技術報告：心臓核医学に関する技術、装置、医薬品等をまとめた実用的な報告

・総説：学会のシンポジストや講演者等に総説を依頼したものとする。尚、総説の投稿も受け付ける

・編集者への手紙

・その他の寄稿、資料等

7) 原稿の採否、掲載順序、項目は編集委員会で決定する。

8) 投稿原稿のファイル形式：本文ファイルはMicrosoft Word、rtfフォーマット、図表ファイルはMicrosoft Word、Excel、Power Pointとし、編集委員会に電子メールで送る（宛先：editor\_nuclcardiol@jsnc.org）

9) 執筆上の注意

(1) 原稿は和文または英文とし、A4判、横書きで作成し、余白および行間を十分に空ける

(2) 和文の場合は、本文には希望項目、題名（和文および英文）、著者名と所属（和文および英文）、連絡先（郵便番号、住所、電話、e mail）、キーワード（英語5語以内）、和文要旨（400字以内）、英文要旨（300語以内）、本文、引用文献、表（英文）、図の説明文（英文）の順に記載し、タイトル頁から各頁に通し番号を入れる。要旨は、原著、短報、技術報告の場合には、目的、方法、結果、結論を各々簡略に記載する。症例報告は、症例の要旨（400字以内）を簡潔に記載する。

英文の場合は上記の各項目のいずれも英文で記載し、原著論文のAbstractは、Objective、Methods、Results、Conclusionを記載する。症例のabstractは300語以内で記載する。

(3) 図表および写真は鮮明なものとし、jpeg、tiff、png とする (300dpi の解像度が望ましい)。なお、図表内の文字およびその説明には英文を用いる。図表の転載が必要な時は、著者の責任において転載許可を得た上で記載する。

(4) 放射性医薬品名については本文中で最初に記載する時に、化学名 (日本語または英語) を記載し、略称はかっこ書で付記する。核種の表記は元素記号の左肩に質量数を書く (例  $^{99m}\text{Tc}$ )。

(5) 引用文献について

a) 記載順序は引用順とし、[1], [1-3]の形式で引用する。

b) 欧文雑誌は、Index Medicus にならい、著者名は 6 名まで記載し以下は et al とする。

例: Yamasaki Y, Nakajima K, Kusuoka H, Izumi T, Kashiwagi A, Kawamori R et al. Prognostic value of gated myocardial perfusion imaging for asymptomatic patients with type-2 diabetes: The J-ACCESS 2 investigation. Diabetes Care 2010;33:2320-6

c) 和文雑誌は、著者名、題名、雑誌名、西暦年号、巻数、頁の順とし、著者名は 6 名まで記載し、以下は他とする。

例: 中田智明. MIBG と心不全: 古くて新しい心縦隔比 HMR による予後評価. 心臓核医学 2013; 1: 8-9d)

著書は和・欧文ともに、著者名、論文名、編集者名、書名、発行社名、発行地名、発行年 (西暦)、頁の順で記載する。著者名は全員を記載する。分担執筆の場合、分担者が明記してある場合はこれを記載する。

例: 西村重敬. 画像診断時代における安定狭心症の診断ストラテジー, 山科章編集, 冠動脈疾患の非観血的イメージング, 中山書店, 東京, 2006 年, p. 248-254

(6) 利益相反関係の開示

当該研究に不適切な影響を及ぼす可能性がある個人または組織との関係がある場合はそれを開示する。

(7) その他

1. 別刷は、別途著者負担とする。
2. 英文校正費については、著者負担とする。